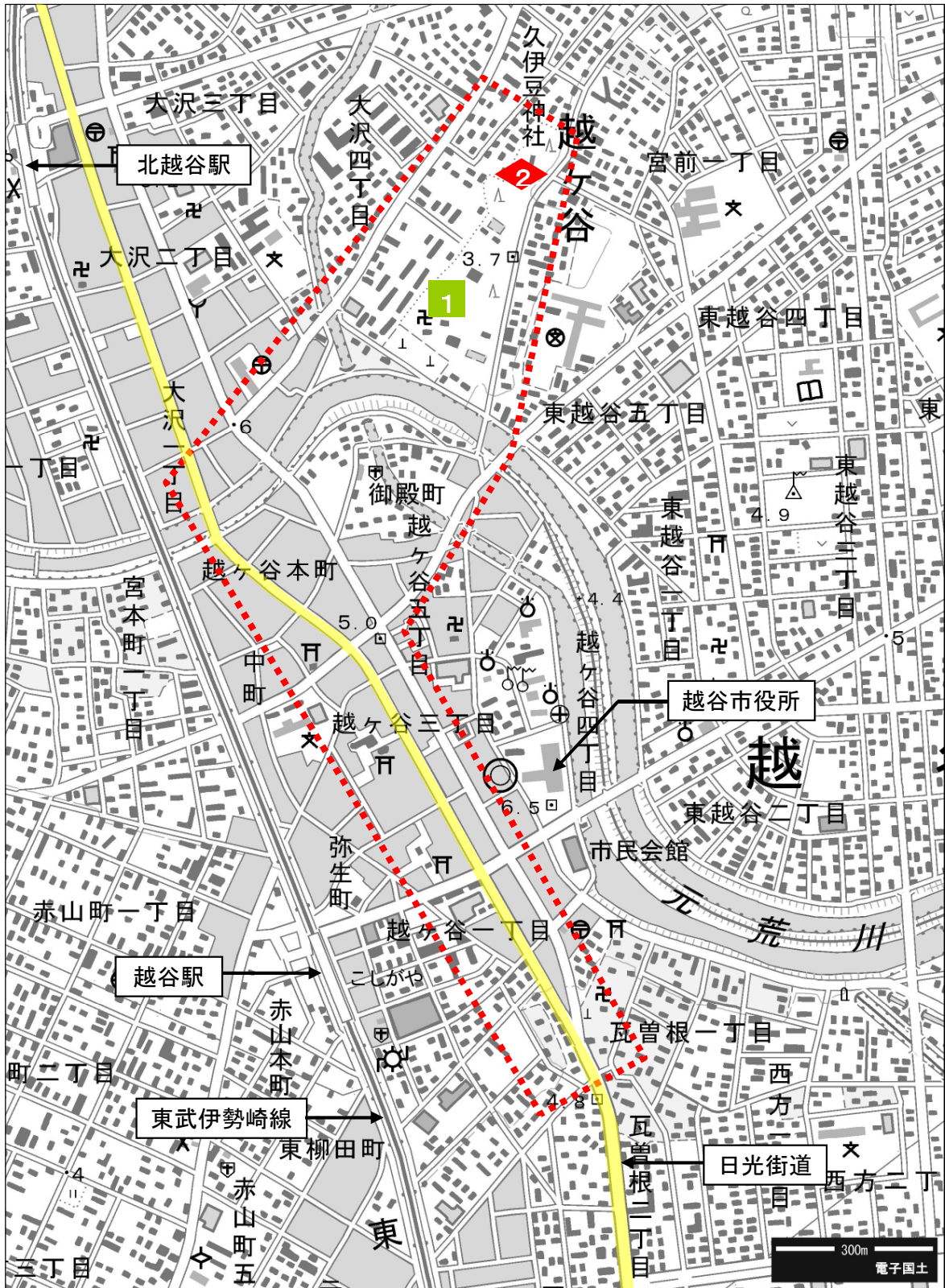


# 越谷



案内図

調査範囲



配置図

凡例

- ◆ 史跡・寺社等
- その他の建造物
- 通り・広場・樹木他

## 越谷



越谷宿は、1899年の大火で町のほとんどを消失した歴史がある。日光街道は瓦葺根で新道に別れ越谷宿に入る。

街道沿いには蔵造りの商家、レトロ調の病院、創業江戸期の商家等が点在し、越谷駅周辺には高層のマンション等が立ち並び、古い建物と混在する街並みを形成している。

(写真は日光街道)

<p>1 -1 アリタキ植物園</p>	<p>1 -2 緑の森公園</p>	<p>2 -1 久伊豆神社本殿</p>
<p>植物学者の有瀧博士の残した植物園で、久伊豆神社、天巖寺ともに一体的な緑地群となっている。当植物園は有瀧博士の意思を継いで開設されたものである。</p>	<p>広大な緑地群の中の芝生広場。紅葉の木々に囲まれた広大な空間は越谷市民の貴重な財産である。</p>	<p>久伊豆神社は、祭神は大国主命、事代主命など五柱が祀られ、平安末期の創建とされる。江戸時代に徳川将軍家の信仰が厚かった。</p>
<p>2 -2 久伊豆神社</p>	<p>3 宮前橋</p>	<p>4 -1 天巖寺</p>
<p>手洗い所は江戸期の建造で彫物が見事である。</p>	<p>久伊豆神社の門前に架けられた比較的新しい橋梁である。</p>	<p>広大な敷地を持つ寺院で敷地内には大木が密集しランドマークとなっている。</p>

4 -2 天巖寺の山門	5 逆川沿いの遊歩道	6 -1 元荒川の景観
		
<p>徳川時代には鷹狩にきた家康、秀忠、家光も訪れたとされる寺院である。</p>	<p>元荒川に合流する逆川沿いは遊歩道として整備され、市民の憩いの空間となっている。</p>	<p>越谷市は河川に囲まれた都市であり、水と緑の景観が街を特徴づけている。</p>
6 -2 元荒川の景観	7 大橋	8 店舗
		
<p>斜面緑地とともに都市内に残された貴重な水辺空間となっている。</p>	<p>元荒川にかかりテラスのある橋梁である。路面には方位を示すレリーフが埋め込まれている。</p>	<p>切妻木造2階建てのレトロ感ある建物である。</p>
9 店舗	10 蔵	11 店舗
		
<p>店舗のファサードは改修されているが、軒側の窓の手すりが印象的である。</p>	<p>蔵の妻側は銅版で造られた蔵で、開口部の観音扉が重厚で印象的である。</p>	<p>築100年を超えると思われる建物で、現在の店主も正確には把握していないとのこと。店内の柱は銅板が巻かれ重厚感がある。</p>

12 -1 店舗	12 -2 蔵	13 店舗
		
<p>間口は狭く、奥行き深い敷地は街道に面した店舗等の特徴である。街道に面した千本格子戸が印象である。</p>	<p>敷地奥には黒塗りの蔵が置かれており、目を引く。</p>	<p>蔵造りをモチーフにした店舗のファサードである。</p>
14 店舗	15 住宅	16 店舗
		
<p>十六代目という旧家で、建築は明治33(1900)年で、棟梁は地元の宮大工金子浅二郎。土蔵造り2階建て。使用人が使った2階に窓はない。(Smile通信シリーズ埼玉の住まいより)</p>	<p>レンガの卯立を持つ重厚な土蔵造り2階建て。店舗は明治32(1899)年、大工金子浅二郎の手により、土蔵は明治8(1875)年に作られた。(Smile通信シリーズ埼玉の住まいより)</p>	<p>店内は畳敷きの陳列台が珍しい。店の奥には土蔵、石造、木造の4棟の蔵がある。最奥の木造2階建ての建築は大正時代末期。(Smile通信シリーズ埼玉の住まいより)</p>
17 店舗	18 -1 浅間神社	18 -2 浅間神社のケヤキ
		
<p>一部改装された店舗であるが、重厚な瓦屋根と木板の雨戸が目を引く建物である。</p>	<p>道路面から1.5mほど高く盛土された上に社が祀られている。</p>	<p>越谷市で一番の大木であるケヤキがランドマークになっている。</p>

<p>19 -1 タブノキと黒塀</p>	<p>19 -2 黒塀と蔵</p>	<p>20 蔵</p>
		
<p>敷地内のタブノキと周囲の黒板塀が時代を感じさせる街並み景観を形成している。</p>	<p>黒板塀と敷地角の蔵は街のランドマークとなっている。</p>	<p>白い石壁が印象的な蔵で二本の紅葉も風情を醸し出している。</p>
<p>21 -1 蔵</p>	<p>21 -2 蔵</p>	<p>22 病院</p>
		
<p>奥行き深い敷地のはぼ中央にある蔵で、レンガ積みの卯立が防火対策の設えを思わせる。</p>	<p>敷地の最も奥には、重厚感ある黒塗りの蔵が2棟置かれている。</p>	<p>下見板張りの外観と半切妻屋根の西洋風木造2階建てで昭和10(1935)年に完成した旧越谷郵便局である。設計施工は、近在の大工横川一司。(近代埼玉の建築探訪より)</p>
<p>23 旅館</p>	<p>24 歴史的な街並み</p>	<p>25 店舗</p>
		
<p>かつての宿場町を思わせる旅館である。</p>	<p>街道のたたずまいを偲ばせる商家が風情のある街並みを形成している。</p>	<p>築90年を超える米穀店。現在の店主は4代目が継いでいる。</p>

	<p><b>27</b> 八幡神社</p> 	<p><b>28</b> 店舗</p> 
	<p>路地の奥のこじんまりとした神社であり社殿と公園が一体となった憩いの空間となっている。</p>	<p>切り妻総2階建てでプロポーションが美しい建物である。1階店舗の木製建具が昭和時代のレトロ感を醸し出している。</p>
<p><b>29</b> 店舗</p> 	<p><b>30</b> 店舗</p> 	<p><b>31</b> 市役所前中央通り</p> 
<p>昭和初期を思わせるレトロ感あるファサードを持つ店舗である。</p>	<p>石張りの外壁と木製の建具がレトロ感のある、ファサードを形成している看板建築。</p>	<p>越谷駅から東方面に連絡する通りである。</p>
<p><b>32</b> 市役所前中央通り(越谷二交差点)</p> 	<p><b>33</b> 市役所前中央通りのモニュメント</p> 	<p><b>34</b> 蔵</p> 
<p>越谷二丁目交差点付近ではセットバックされた空間があり、ポケットパーク的な広場となっている。</p>	<p>越谷二丁目交差点付近にはモニュメントが配置され、街の景観に彩りを添えている。</p>	<p>通りから一步入った奥にある小さな石造りの蔵である。重厚な鉄扉が目目を引く。</p>

<p><b>35</b> 店舗</p>	<p><b>36</b> 日光街道 越谷宿始まり</p>	<p><b>37</b> 旧日光街道の里程表</p>
		
<p>周囲の建物に囲まれ、ひっそりと建っている。1階と2階の軒の高さが現代の建物と異なり目を引く。</p>	<p>日光街道と新道(都計道足立・越谷線)の分岐点となっている瓦曾根付近。</p>	<p>日光街道の里程表は、街道と新道の分岐点にある。</p>
<p><b>38</b> 遊歩道</p>	<p><b>39</b> 照蓮院本堂</p>	<p><b>40</b> 窮民救済の碑</p>
		
<p>用水路を埋め立てた後に遊歩道として整備された歩行者空間である。両側に植栽された銀杏が美しく紅葉しておりアイポイントとなっている。</p>	<p>本堂とともに両側の銀杏がみごとでシンボルツリーとなっている。</p>	<p>古い碑がフェンスで囲まれている。</p>